

一般社団法人 日本医療薬学会
平成 23 年度第 2 回定例理事会 議事録

一. 開催日時：平成 23 年 4 月 23 日（土） 9 時 30 分～12 時 35 分
（10 時 15 分～11 時 45 分までの間、第 3 回定時社員総会のため中断）

二. 開催場所：日本病院薬剤師会会議室

三. 出席者：

会 頭：安原 真人

副会頭：山田 安彦、望月 真弓

理 事：大石 了三、大澤 孝、大森 栄、奥田 真弘、北田 光一、草井 章、
谷川原 祐介、林 昌洋、平井 みどり、樋口 駿、堀内 龍也、
山本 康次郎、山本 信夫

監 事：内野 克喜、五味田 裕

年会長：佐藤 博（第 22 回年会長）

陪席者：

事務局：松本とみ恵、星 隆弘

欠席者：

副会頭：鈴木 洋史

理 事：井関 健、乾 賢一、宮崎 長一郎

四. 議長：安原 真人

五. 会議の成立

定刻において、議長より開会が宣言され、本理事会は理事 16 名の出席があり、定款第 38 条に定める定足数を満たしており、適法に成立している旨報告された。

六. 議事の経過の要領及びその結果

1. 平成 23 年度第 1 回定例理事会の議事録の確認

議長より、第 1 回定例理事会（以下、前回理事会という）議事録を基に、議事内容の確認が行われ、当議事録への追加又は訂正がある場合には、本理事会終了時まで申し出いただく旨依頼された。また、本日は 10 時 30 分より第 3 回定時社員総会を開催するため、当理事会を一時中断し、その後、再開する方針が述べられた。

2. 協議事項

(1) 第 3 回定時社員総会の次第及び資料の確認

奥田理事より、資料に基づき、第 3 回定時社員総会の資料、進行、議事録署名人の選任ならびに総会会場レイアウト等に係る説明があった。協議した結果、全会一致で承認された。

また、今回の社員総会以降の全社員総会の出欠状況（代議員としての権利行使の有無）

として、出席者、欠席者（議決権行使書提出者、委任状提出者、いずれにも該当しない権利未行使者）の情報を記録するよう事務局に求があった。

（2）学術貢献賞・奨励賞等選考委員会委員の選任

樋口理事より、資料に基づき、平成 23 年度の学術貢献賞及び奨励賞候補者を選考する選考委員会委員の選出方法（以下、選出方法という）と、それに基づいて選出された選考委員会候補者（以下、委員という）に係る説明があった。始めに、委員の選出方法について、平成 23 年度第 1 回学術貢献賞・奨励賞等選考委員会の協議結果が報告された。

委員の選出方法については、原則として、予め 14 名程度の人員を委員候補者としてプールしておき、委員長は、各賞候補の応募状況を踏まえて、その中から 5 名ずつ各賞の委員候補者を指名し理事会に諮り承認を得ることとする。また、当面の間、両賞の委員の兼務を認め、各賞の選考基準や方法に一定の継続性の確保に努め、委員の再任を 2 回までに制限し、交代を諮ることとする。なお、委員長は、会頭より任命されるため、当該選出方法から除外されること、委員会では議長として参画し、選考には加わらないことなどの説明があった。

続いて、前述の選出方法に基づき、学術貢献賞選考委員会委員候補者として大森栄、政田幹夫、荒木博陽、旭満里子、千堂年昭 氏、奨励賞選考委員会委員候補者として大森栄、政田幹夫、幸田幸直、今井輝子、直良浩司 氏を選出したことが説明され、協議した結果、全会一致で承認された。

（3）新たな表彰制度の設立

樋口理事より、資料に基づき、新たな表彰制度の設置案に係る説明があった。既存の奨励賞の下位に位置する表彰のカテゴリーとして、最新の研究成果により博士の学位を取得した研究者を対象に、当該研究成果に係るプレゼンテーションと討論を通じて評価を行い表彰する制度として「Postdoctoral Presentation Award」の創設に関する提案があった。協議した結果、名称や選考に係るプロセス等の運営面について不明確な点があったため、学術貢献賞・奨励賞等選考委員会で再検討することになった。

（4）本学会のシンボルマーク

奥田理事より、資料に基づき、本学会のシンボルマークに係る説明があった。前回理事会で協議され、採用が決定したシンボルマークについて、応募作品の選考に当たった広報委員会において、原案の緑色ベースのものではなく異なる色調のものが良いという意見があった。そのため、4 種類の色調バリエーション（赤・青・黄・緑）が提案され、本理事会の意見をもって本学会のシンボルマークとして最良のものを決定したい意向が述べられ、協議した結果、全会一致で原案どおりの緑色をベースとしたデザインを採用することとなった。また、当該デザインに係る本学会への著作権の譲渡等を定めた覚書を締結したこと及び当該デザインについては、同日開催される第 3 回定時社員総会で披露することが付け加えられた。

続いて、本会に譲渡された著作権の適切な確保のために、当該シンボルマークの絵柄部分のみを商標登録すること、そのための登録料、登録手数料、登録完了後の権利維持料を支出することに係る説明があり、協議した結果、全会一致で承認された。

（5）平成 22 年度会費未納者への対応

議長より、資料に基づき、平成 22 年度学会費の未納者 1 名より、過去に遡って学会費

の納入を希望する主旨の嘆願書が提出され、その取り扱いに係る説明があった。従前より、前年度分の学会費の納入については認めておらず、学会費を遡る納入に関する嘆願書等が提出された場合に当理事会において個別判断をする対応をしてきたところであり、今回の提出者の取り扱いについて協議した。その結果、従前からの取り扱いに倣い、特別事務手数料を徴収するという条件付で前年度学会費の納入を認めることが、全会一致で承認された。

(6) 会員管理システムの見直し（改修）

大石理事より、資料に基づき、会員管理システムの見直し（改修）に係る説明があった。はじめに、現行システムの問題点と見直しによる効果として、同一施設勤務者が一括検索・抽出できるようになること、会員個人の登録情報と認定・役員・委員・学会賞の受賞ならびに研修施設等の情報を管理する複数のデータベースが連結できるようになること、本学会専用の E-メール配信サーバーを持つことにより E-メールアドレス登録者へのメール配信が明瞭かつ容易に行えることなどが説明された。続いて、奥田理事より、新システムの概要案として、Web 上に会員管理データベースを置くことで、会員自身が情報の登録・変更、検索・閲覧が可能なシステムとなる A 案と、既存の市販データベースソフト（ファイルメーカー）を利用し複数のデータベースを連結したシステムとなる B 案の機能とおおまかな構築費用（A 案：約 700 万円、B 案：約 100 万円）が紹介された。協議した結果、A 案については会員の利便性は高いが、会費納入システムや選挙投票システムなどと連動させるなど更なる検討が必要になること、B 案については会員のメリットに大きな変化は見られないが、精度良く管理できる情報が多くなり又 A 案より安価で済むことなどから今回は B 案を採用し、具体的な構築のための検討を進めることとなった。

(7) その他

なし

3. 報告事項

(1) 平成 23・24 年度推薦代議員候補者の選出

議長より、前回理事会において承認を得た平成 23・24 年度推薦代議員候補者に代議員（候補者）への就任を依頼したところ、内諾がとれたことより第 3 回定時社員総会に諮る旨の報告があった。

(2) 第 21 回年会の準備状況及び本学会の東日本大震災への対応

平井理事兼第 21 回年会長より、第 21 回年会（H23.10/1～2 開催）の準備状況として、開催概要が報告された。特別講演 3 題、教育講演 2 題、シンポジウム 32 題ならびに年会長講演、学会賞受賞講演、市民公開講座等をもってプログラム編成する計画が報告された。また、東日本大震災への対応として、災害対応をテーマとした特別シンポジウムを編成したこと及び被災地である岩手、宮城、福島各県の在住者の当該年会参加費を無料とするものの報告があった。

続いて、議長より、本学会の当該震災への対応として、本学会 HP で、日病薬及び日薬における薬剤師ボランティアや義援金の募集案内等の Web サイトにリンク設定し、両団体

の震災対応活動を支援していることが報告された。

(3) 平成 23 年度がん薬物療法海外派遣研修員

谷川原理事より、資料に基づき、平成 23 年度がん薬物療法海外派遣研修員の選考結果に係る報告があった。本年 1 月 12 日から 3 月 7 日までを募集期間としたころ、3 名の応募があり、3 月下旬にがん専門薬剤師認定制度委員会をメール会議形式で開催し、当該選考に係る審議をした結果、全 3 名を当該研修員として選考したこと、又うち 2 名に本学会の認定薬剤師試験やがん専門薬剤師試験の受験を指示する付帯条件を通知したことが報告された。なお、今年度より、米国施設における円滑な実地研修の遂行のため、一定レベルの英語力を有する者を選考する目的で、応募申請書類上で TOEIC スコアを求めたことが補足説明された。

(4) 後援依頼

議長より、資料に基づき、本学会への後援の依頼があった「日本癌治療学会アップデート教育コース (H23. 9. 3 開催)」、「医療薬学フォーラム 2011/第 19 回クリニカルファーマシーシンポジウム (H23. 7. 9-10 開催)」について、後援の承諾回答をしたことが報告された。併せて、先に後援を承諾した「第 11 回オンコロジーセミナー (H23. 4. 23 開催予定)」が東日本大震災の影響を鑑み中止となった連絡を受けたことが報告された。

(5) 委員会報告

○ 学術貢献賞・奨励賞等選考委員会

協議事項 (2) 学術貢献賞・奨励賞等選考委員会委員の選任で報告済。なお、補足事項として、学術貢献賞と奨励賞の位置づけに鑑み、従前の「奨励賞・学術貢献賞選考委員会」を、今年度より「学術貢献賞・奨励賞等選考委員会」に改称することとしたことが報告された。

(6) その他

なし

以上をもって議事の全部の審議及び報告を終了したので、議長は 12 時 35 分に閉会を宣言し、解散した。